

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		04 04 06	中期総合計画主要施策番号		3-05	担当課	部・課	社会部障害福祉課	
事業名		心身障害児(者)タイムケア事業					内線	2390	
							E-mail	fukushi@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	・心身障害児(者)を家庭において一時的に介護できない場合等に、事業者等の登録介護者において介護サービスを提供し、障害児(者)及び家族の地域生活を支援する。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)]							
		・障害児(者)を一時的に介護できない場合等、介護者への支援が必要とされている。							
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)]							
	事業内容	・障害児(者)を家族だけで介護することは、介護者が休息できなかつたり冠婚葬祭等の行事に参加できないなど、多大の負担が発生する。							
[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)]									
実施期間	・家族に代わり登録介護者が介護サービスを提供することで、家族の負担を軽減し、障害児(者)を含めた地域生活の支援を行う必要がある。								
	・市町村が行う心身障害児(者)タイムケア事業に対する費用について補助する。 (補助率: [県] 1/2, [市町村] 1/2)								
事業の概要等		H8	～	根拠法令等	心身障害児(者)タイムケア事業実施要綱				
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	・タイムケア事業の適正な実施を図り、家族も含めた障害児(者)の地域生活を支援する。		・タイムケア事業を実施した市町村に対し、適正に交付する。			・2,194人の利用について市町村からの申請に基づき補助金を交付し、障害児者の家族の負担軽減が図られた。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	67,436	61,849		国庫・県単	県単	
	決 算 額 (B)		千円	66,298	60,458		実施方法	補助	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	66,298	60,458		歳出節別	補助金: 60,458	
	概 算	従事する職員数	人	0.20	0.20	0.20	内訳等		
	人件費	概算人件費 (C)	千円	1,428	1,430	1,430	(単位: 千円)		
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	67,726	61,888	1,430				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	利用人員		人	1,961	2,194	2,200			
	利用時間		時間	222,047	211,833	213,400			
	1人当たり利用時間		時間	113	97	97			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判 定 の 説 明	・家族の負担軽減事業へのニーズは増加しているが、18年10月に国庫補助事業である日中一時支援事業が創設され、本事業と同じサービスの提供が可能となったことから、タイムケア事業としては横ばいである。 ・今後、国庫補助事業との役割分担も含めた事業のあり方について検討していく必要がある。 ・例年、決算時に多額の不要額を生じていることから部内の県単事業補助金と統合を図ることで、市町村が各々の実情に応じて活用できるよう21年度から整備した。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		・タイムケアを実施できる国庫補助事業(地域生活支援事業における日中一時支援事業)の補助金が十分でないことから、国への予算措置の要望を引き続き行っていくとともに、障害者自立支援法の見直し状況を見ながら、国庫補助事業との役割分担も含めた事業のあり方について、今後検討していく必要がある。 ・当該事業は21年度から「地域福祉総合助成金交付事業」として、市町村が各々の実情に応じて補助金を有効活用できるよう社会部における他の県単独事業と統合補助金化を図ったが、引き続き市町村等の意見・実情に応じた補助となるよう検討していく。						